

収入や所得とは

収入とは、自営業の場合には売上金額、サラリーマンや公的年金収入の人の場合には源泉徴収額（所得税等）や社会保険料等を差引く前の額で、源泉徴収票の支払金額欄に記載されている額です。

所得とは、収入から必要経費を差し引いた額です。サラリーマンの場合には、必要経費を特定することがむずかしいため、「給与所得控除」として収入に応じた必要経費が定められており、収入金額に応じた控除額を差し引いて算出します。公的年金収入の人の場合には、「公的年金等控除」として収入や年齢に応じて定められた控除額を差し引いて算出します。

なお、給与と公的年金収入の所得計算は下記のとおりとなります。

◎給与所得金額の求めかた

給与の収入金額 (源泉徴収票の支払金額)	給与所得
55 万 1 千円未満	0 円
55 万 1 千円以上 161 万 9 千円未満	給与収入－550,000 円
161 万 9 千円以上 162 万円未満	1,069,000 円
162 万円以上 162 万 2 千円未満	1,070,000 円
162 万 2 千円以上 162 万 4 千円未満	1,072,000 円
162 万 4 千円以上 162 万 8 千円未満	1,074,000 円
162 万 8 千円以上 180 万円未満	①給与収入÷4＝A(千円未満切捨) ②A×2.4＋100,000 円(＝給与所得)
180 万円以上 360 万円未満	①給与収入÷4＝A(千円未満切捨) ②A×2.8－80,000 円(＝給与所得)
360 万円以上 660 万円未満	①給与収入÷4＝A(千円未満切捨) ②A×3.2－440,000 円(＝給与所得)
660 万円以上 850 万円未満	給与収入×0.9－1,100,000 円
850 万円以上 2,000 万円以下	給与収入－1,950,000 円

(注)

令和 2 年分の給与収入の総額が 5,310,000 円の場合、給与所得は次のようになる。

① $5,310,000 \div 4 = 1,327,500$

② $1,327,000 \times 3.2 - 440,000 = \underline{3,806,400}$ (円)

◎公的年金の所得金額の求めかた

公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額		1,000万円以下	1,000万円超2,000万円以下	2,000万円超
年齢	公的年金の収入金額 (A)	公的年金に係る雑所得の金額	公的年金に係る雑所得の金額	公的年金に係る雑所得の金額
65歳未満の方	40万円以下			
	40万円超 50万円以下			(A) - 400,000円
	50万円超 60万円以下		(A) - 500,000円	(A) - 400,000円
	60万円超 130万円以下	(A) - 600,000円	(A) - 500,000円	(A) - 400,000円
	130万円超 410万円以下	(A) × 0.75 - 275,000円	(A) × 0.75 - 175,000円	(A) × 0.75 - 75,000円
	410万円超 770万円以下	(A) × 0.85 - 685,000円	(A) × 0.85 - 585,000円	(A) × 0.85 - 485,000円
	770万円超 1,000万円以下	(A) × 0.95 - 1,455,000円	(A) × 0.95 - 1,355,000円	(A) × 0.95 - 1,255,000円
	1,000万円超	(A) - 1,955,000円	(A) - 1,855,000円	(A) - 1,755,000円
65歳以上の方	90万円以下			
	90万円超 100万円以下			(A) - 900,000円
	100万円超 110万円以下		(A) - 1,000,000円	(A) - 900,000円
	110万円超 330万円以下	(A) - 1,100,000円	(A) - 1,000,000円	(A) - 900,000円
	330万円超 410万円以下	(A) × 0.75 - 275,000円	(A) × 0.75 - 175,000円	(A) × 0.75 - 75,000円
	410万円超 770万円以下	(A) × 0.85 - 685,000円	(A) × 0.85 - 585,000円	(A) × 0.85 - 485,000円
	770万円超 1,000万円以下	(A) × 0.95 - 1,455,000円	(A) × 0.95 - 1,355,000円	(A) × 0.95 - 1,255,000円
	1,000万円超	(A) - 1,955,000円	(A) - 1,855,000円	(A) - 1,755,000円

(注)

65 歳以上の人で「公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額」が 500 万円、「公的年金等の収入金額の合計額」が 350 万円の場合、公的年金等に係る雑所得の金額は次のようになります。

$$3,500,000 \times 0.75 - 275,000 = \underline{2,350,000 \text{ (円)}}$$

《参考資料》

- ・ 国税庁、『令和 2 年版 源泉徴収のあらまし』、p154-155
- ・ No. 1410 給与所得控除, タックスアンサー（よくある税の質問）. 国税庁.
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1410.htm>, (参照 2020-07-07)
- ・ No. 1600 公的年金等の課税関係, タックスアンサー（よくある税の質問）. 国税庁.
<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/shotoku/1600.htm>, (参照 2020-07-07)
- ・ 「令和 2 年分 給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除申告書 兼 所得金額調整控除申告書」裏面、4 各種申告書の合計所得金額について